

Doors open 10:00

Kyoto Kanze Regular Performances 23 Sun Aug. 2026 11:00 a.m.-4:00 p.m.



京都観世会八月例会

令和8年8月23日(日) 午前11時 開演 (午前10時開場)

〈能〉

Kagekiyo

景 清 松門之会釈

観世鍔之丞

〈狂言〉

Mizukakemuko

水掛 聶

野村又三郎

〈能〉

Fujitaiko

富士太鼓 現之樂

河村 晴道

〈能〉

Kasugaryujin

春日龍神 龍女之舞

杉浦 豊彦

TICKETS 7/1 10:00 発売

一般前売指定席券(1階) ¥9,000

Advance reserved seat (1st floor)

一般前売自由席券 ¥7,000

Advance non-reserved seat

一般当日券(自由席) ¥7,500

Same-day (Non-reserved seat)

学生券(2階自由席) ¥3,000

Student (2nd floor)

※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金です。

WEB予約で座席指定できます。
電子チケット「チケットレスQ」も
選択できます。



チケット販売

お問合せ・申込み
京都観世会館

Tel: 075-771-6114

<http://www.kyoto-kanze.jp>

〒606-8344

京都市左京区岡崎円勝寺町 44
(東山仁王門東入)



京都観世会館 HP

Noh Play Theater
Kyoto Kanze Kaikan

会場 京都観世会館



地下鉄東西線「東山駅」①番出口から徒歩約5分
京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
徒歩約3分
「東山仁王門」下車徒歩約5分
東隣に有料駐車場(約20台)がございます。



日本語 Map



English Map

京都観世会八月例会

人丸 浦田保親
人丸 河村和貴
悪七 観世鏡之丞
景清 松門之会釈

里人 福王茂十郎

大鼓 亀井広忠
小鼓 大倉源次郎

笛 杉市和

後見・地謡
大江信行
片山九郎右衛門

寺澤拓海 橋本光史
大江広祐 浦田保浩
宮本茂樹 浅井文義
深野貴彦 吉浪壽晃

水掛智

男 野村又三郎

信朗 改メ
野村小三郎
妻 伊藤泰

休憩二十分

富士ノ娘 田茂井律朗
富士ノ妻 河村晴道
富士太鼓 現之樂
間 從者 伊藤泰

臣下 福王知登

大鼓 河村大
小鼓 林吉兵衛

笛 左鴻泰弘

休憩十五分

女 郎花
井 筒
大 江広祐
吉 浪壽晃

(二時四十五分頃)

男 谷 弘之助
龍女 吉田篤史
龍神 杉浦豊彦
春日龍神 明恵上人 小林 努
龍女之舞 從僧 渡貫多聞
從僧 宝生朝哉

附祝言

(終了予定 四時前)

後見・地謡

後見
田茂井廣道
河村晴久

浅井風矢 松野浩行
河村浩太郎 味方 團
大江泰正 林喜右衛門
鷲尾世志子 浦部幸裕

味方 梓
古橋正邦
武田邦弘
宮本茂樹

後見
橋本忠樹
井上嘉介

橋本充基 松井美樹
宮川卓也 片山伸吾
樹下千慧 味方 玄
井上裕之真 分林道治

解説

景清 松門之会釈
景元の春を誇ったさしもの平家
一門も、時利あらず、義経勢は強、
西海を流離した末、ついに長門壇
の浦で壊滅し、一門のおもだった
者は波に沈み、あるいは源氏に捕
われの身となった。しかるに、生
きまじく姿を消した平家清盛は、い
まも上り富士の悪七兵衛清盛とい
う名で、能「景清」は、その後日譚
として書かれています。

景清は両眼を失った。源家一統
の世は見たくもなしと、みずから
両眼を抉り取ったのだとも伝わる。
彼は熱田の遊女の腹にもうけた
一女があつた。いまの鎌倉亀ヶ江
谷の遊女人丸である。彼女は父恋
しさに日向のかたはとりまて、
風のため目を頼みに下つて来、
両眼を失つた景清は、せんかたな
さに髪をおろし、日向の勾当と呼
ばれて、村人の憐れみで口々に嘲
っている。勾当とは検校・別当に次
ぐ盲人の位の一、座頭の位であ
る。能「景清」は、シテが悲に琵琶
を抱いて平家を語る琵琶法師の
姿で、「さす」がわれも平家」と
綴り、さすのが、一つの妙味と
いえる。綴りさすは景清が太刀を折
つて退くこととする三保谷四郎の兜
の綴をつかんで引き返そうといふ
三保谷は引かれまいと身を引く、
揉みつままれつゝの末、綴が切れた
という話で、話の主人公と、語り
手と、さらに琵琶法師の三者がオ
ーヴァーラップするのだ。

「松門之会釈」は「松門之忠告」とも「松門之出」ともいふ。「松門ひとり」の謡は平家節を語るという伝えがある。

富士太鼓 現之樂
森原の院 花園天皇が内裏で
七日間の管絃の雅しをされるので、
天王寺の浅間といふ太鼓の名手が
召された。ところが住吉の富士と
いふ太鼓の名手が自分でその役を
望んで上京する。富士の差し出た
行為を憎んだ浅間は、宿所に押し
入り富士を殺害してしまふ。富士
の妻は福ならぬ夫のめを案じて子
供を連れて都へ上り、院の臣下に
夫が非業の死をとげたこと知られ、
我が身や子供のことを考え悲願に
くれる。しかし妻は氣をとりなお
し臣下から渡された形見の舞衣装
を着て鳥兜をつけ、夫に別れたの
も、夫が討たれたのも、この太鼓
のせい、太鼓こそ夫の仇であると
母子ともに太鼓を打つて怨念をは
らそうとする。いつしか富士太鼓
の霊が妻にとりつき狂乱の舞で太
鼓を打ちならし舞臺を舞う。仇の
太鼓を討ち果たし、激しい狂乱も
鎮まった妻は心の迷ひも晴れて、
衣装を脱ぎ捨てると、もとの女に
戻つて母と子どもと故郷へと帰つ
ていくのであつた。

形見を身に着けることによつて
形見の主が憑き添うという手法は、
「松門」「井筒」「杜若」「京都小町」
など多くの曲に取り入れられてい
るが、「富士太鼓」では夫への恋慕
の深さ、娘への母性愛も加わり、
憑依の舞の面白さと狂女物らしい
人間ドラマが両立している。

「現之樂」の小書では、「楽」の
途中に橋懸へ行き太鼓を見込み、
また舞臺に戻つて太鼓を打つなど、
太鼓がより生かされる演出にもな
つていく。

春日龍神 龍女之舞
山城国梅尾の明恵上人が入唐渡
天を志し、その暇乞いに春日明神
へ参詣するため、奈良春日の里へ
とおもむく。そこへ宮守の翁が現
れ上人が天然・唐土へ渡ろうと考
えていることを聞き、それは神慮
に背くことであると引き止める。
「春の日はあけぬ、春の日はあけぬ」
を唱へて四時折々の上人の参詣を
心待ちにしておられ、上人を太郎
と呼び、笠置の解脫上人を次郎
と呼び、両の眼の手のように思
ひ召し、守護遊ばすと伺つてい
る。上人が日本を去り天然・唐土
へお渡りになつては明神の思し
召しに背くことになるというので
ある。上人が、入唐渡天も仏道を
尋ねるためであるから神慮に背く
はずはないと答えると、釋尊入滅
後の今日では、この春日山こそ仏
が説法された靈鷲山であると諭す。
上人は即ちこれを御神託と思ひ、
渡唐を思い止まり、名を尋ねると、
翁は渡唐を止まらば、三笠山に
から入滅の様を写し、釋尊の誕生
から入滅の様までですべてお見せし
ようという神の告を伝える。かき消
すように消えてしまふ。(中略)
やがて春日野の野山は金色の世
界となり、八大龍王が百千の眷族
を引き連れて出現し仏の会座に参
会する様を見せる。上人が入唐渡
天を止まざる由約束をする、龍神
は泉の池の水を蹴立てて消え失
せる。

時風秀行とは春日明神が鹿島か
ら春日山へ移り給うときに供奉し
た二人の者。能本ではこれを一人
として取扱つていく。

「龍女之舞」の小書が付くと、常
にはでない龍女が出て舞を舞う。

次回予告

京都観世会九月例会

令和8年9月27日(日)

午前11時開演

(能) 橋弁慶 宮本 茂樹

(狂言) 狐塚 茂山 千五郎

(能) 三輪 青木 道喜

(能) 融 古橋 正邦

【お知らせ】

今後の状況の変化により、当日券販売の有無や催し物の内容等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
「字幕解説サービス」専用端末は千円(税込)にて貸出いたします。

お客様へお願い

◆都合により当日券販売の有無や催しの内容、出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。

◆上演中は、携帯電話など音や光を発する機器の電源はお切りください。

◆見所(客席)での飲食はご遠慮ください。

◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場等をご利用ください。

【表紙写真】

《景清》片山幽雪

金の星渡辺写真場撮影